

# 兵庫県保険医協会 姫路・西播支部ニュース No. 303 2024年12月15日



発行 兵庫県保険医協会姫路・西播支部 支部長 正木茂博

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802

西播社保協・自治体キャラバン

## 住民に寄り添いすべての人が 住みやすいまちづくりを

地域の医療・福祉改善のため、住民らでつくる西播社会保障推進協議会（西播社保協、会長：高森信岳支部長）が毎年秋に行う自治体キャラバン（自治体訪問）が、今年度は10月17日～11月29日にかけて姫路・西播地域の4市6町で行われており（宍粟市は12月中で調整中）、住民らが自治体職員と懇談している。高森支部長が参加した相生市、神河町と姫路市と懇談した様子を紹介する。

自治体キャラバンは、県下の市町に社会保障改善を求める要望書を提出し、各自治体からの回答に基づいて、首長や職員と懇談を行うもの。今回は健康保険証の存続、国民健康保険、高齢者医療制度、介護保険の改善などを中心に福祉の充実を求める強い思いを自治体職員に届けた。

### 姫路市（11/8）

懇談には19人が参加。社保協側から12月に保険証が廃止された際の、資格確認書の扱いについて質問。担当者は「国保加入者には現在の保険証の有効期限がくる来年7月末までには、資格確認書を送付する」とした。今年の12月以降に新たに国保に加入し、マイナ保険証を持たない人には、資格確認書をすぐに発行するとした。

また、マイナンバーカードを紛失した場合には、申請により資格確認書が即日発行されること、高齢者で支援が必要な場合など要件を満たせば申請により資格確認書が発行されることも明らかにした。一方、社保協からの、マイナ保険証を持っているかどうかにかかわらず一律に資格確認書が発行すべきという要望に対して「全員への発行は考えていない」との回答だった。

（次ページにつづく）



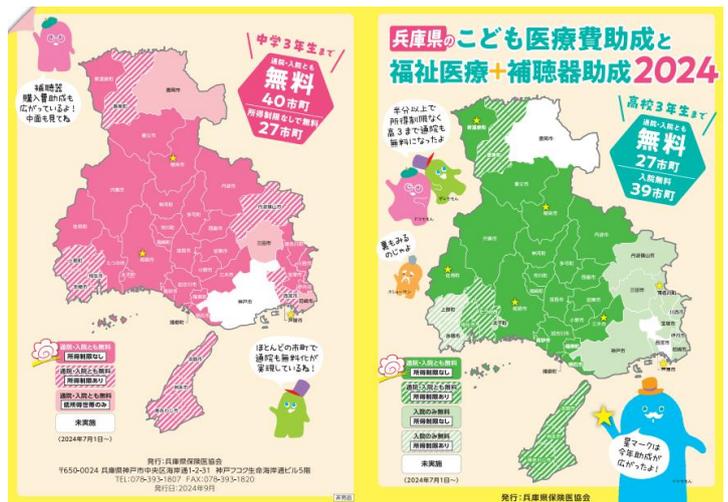
相生市のキャラバンで  
挨拶する高森支部長

### （前ページつづき）

介護保険料について、40億円以上ある基金を活用し、保険料を引き下げることがを要望。市側は「基金を取り崩しながらなんとか保険料を据え置いており、これ以上の引き下げは厳しい」とした。

補聴器購入補助制度については、市として独自補助を行う予定はないが、全国一律の制度を国に要望していくと回答した。

その他、インフルエンザワクチンの子どもの接種無料化や、特定健診の充実を要望した。



協会作成のパンフレットも活用し懇談した

### 神河町（11/13）

神河町キャラバンでは山名宗悟町長があいさつし、「都市部でも子育て政策が広がったため人口が流出し、地方の自治体は厳しくなる一方。出生率も喫緊の課題だ」とし、町独自の政策として県が実施している入学支援金とは別に小・中学校の入学時にそれぞれ3万円の給付や、自転車通学の中学生には自転車の購入補助として最大3万円給付していることを紹介した。

保険証の問題については来年8月の国保の更新の際、希望者には申請により資格確認書を交付するとしたが、すべての加入者への送付は「考えていない」との回答だった。

高森支部長から「姫路の病院を中心にアルツハイマー病の治療薬『レカネマブ』の投与が始まっており、投与が進んでいくと退院後の患者を地域の病院等で受け入れることになるかと思う。薬剤が高額なため患者負担が非常に高くなるが、自治体として何か補助など検討しているか」と質問。町は「今のところは考えていない」との姿勢を示したため、制度の創設を訴えた。

### 相生市（11/14）

国保加入者の資格証明書について、既加入者には保険証の有効期限が切れる7月末までに送付、新規加入者でマイナ保険証を持っていない人には資格確認書を即日発行するとした。国保加入者全員に資格確認書を送付すべきという要望に対して市は「国は加入者全員に送付することは差し支えないとしているが、マイナ保険証に一本化していく流れの中で、全員への発行はしない」という姿勢を示した。社保協側からは、紛失や不具合などによる医療の切れ目がないよう丁寧な対応を求めた。

また、認知症の高齢者などマイナ保険証では受診が困難な人について担当者は「暗証番号がない顔認証のみのマイナンバーカードも発行可能」としたことについて、高森支部長から要介護認定は市が行い、同意能力がないとわかっているのに、顔認証やマイナンバーカードの申請を勧めることについてどう考えるのか、と追及したが具体的な回答はなかった。

マイナンバーカードとの紐づけ解除手続きについて、「国から様式例が示されており、それに則って作成し、広報紙やホームページで公表する」とした。回覧板での周知を求めたが「実施は考えていない」とした。「12月2日以降、現行の保険証が使用できなくなる」という誤った噂もあるため、正しい情報を周知するよう要望した。

## 健康情報テレホンサービス

通話料無料 **(0120) 979-451**



★24時間いつでも3分間程度の開業医の手作りの健康・医療情報を放送しています。

★インターネットでもご覧いただけます。過去の放送分もキーワード検索できます。URLは、<http://www.hhk.jp/>

左下のバナー「健康情報テレホンサービス」をクリック。

【2024年12月のテーマ】

月曜日 女性の腫瘍に多い子宮筋腫

火曜日 オーバードーズ  
(市販薬などの過剰摂取)

水曜日 スマホ首

木曜日 急性中耳炎

金土日 緊張型頭痛

【2025年1月のテーマ】

月曜日 子どもの冬の感染症

火曜日 あごのトラブル 顎関節症

水曜日 過敏性肺炎

木曜日 痔の日帰り手術

金土日 シックハウス症候群

※祝日は直前のテーマを放送します。

※12/27～1/5までは年末年始のテーマ・ヒートショックを放送します。

## 支部ニュースへぜひご投稿ください！

日常診療のことや、医科・歯科連携などテーマは自由です。

ぜひご投稿ください。

お問い合わせは Tel:078-393-1840

投稿は Fax:078-393-1820 または E-mail:o-sugimoto@doc-net.or.jp 担当:杉本まで

## 秋の拡大月間ご協力ありがとうございました！！

協会では、10月より「組織強化月間」に取り組んでいきました。

多くの新規開業、病院勤務の先生方に保険請求対策、審査指導対策、新規開業医研究会、臨床研究会、歯科定例研究会等の参加、3大共済制度（グループ保険・保険医年金・休業保障制度）の利用でご入会を呼びかけてきました。

先生方のご協力もありまして会員数は

過去最高の **7754人** を達成することができました！

今後も「頼りになり役に立つ、会員になって得する協会」活動を実践し開業保険医の生活と権利を守り健康保険証の存続を求める運動など地域住民とも力をあわせ社会保障・地域医療の充実に力を尽くしますので、先生方のより一層のお力添えをお願いいたします。



兵庫県保険医協会 姫路・西播支部 医院経営研究会

# 採用・定着のポイント

日時 2月1日(土)14時30分～16時30分

会場 ダイワロイネットホテル会議室  
(姫路市駅前町353番、JR姫路駅から徒歩5分)

講師 桂労務社会保険総合事務所長・  
社会保険労務士

桂好志郎先生

来場定員 20人(申込順)

参加費 無料



労働人口の減少と合わせ、低診療報酬により医療機関での採用がますます厳しくなっています。また、「無料で求人広告掲載」「人材紹介」などを謳った怪しげな会社からのファックス案内を目にしたことがあるかもしれません。労働条件の改善と合わせ「目に留まる求人票」の作成や有給休暇取得などのルールを整備することで働きやすい環境を整え、定着を高めることが重要です。今回は、社会保険労務士の桂先生に「採用・定着のポイント」をテーマにお話しいたします。院長先生、事務長や労務担当のみなさまのご参加をお待ちしております。

お問い合わせは、兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1807（担当：有本・杉本）まで

## 【Zoom視聴の申し込み】

右のURLまたはQRコードからお申し込みください。案内メールが送付されます。

<https://tinyurl.com/mryym3vr>



## 【来場参加の申し込み】FAX 078-393-1820

この用紙のまま、下記をご記入の上、FAXしてください。

市町	医療機関名		
お名前	参加人数	電話番号	